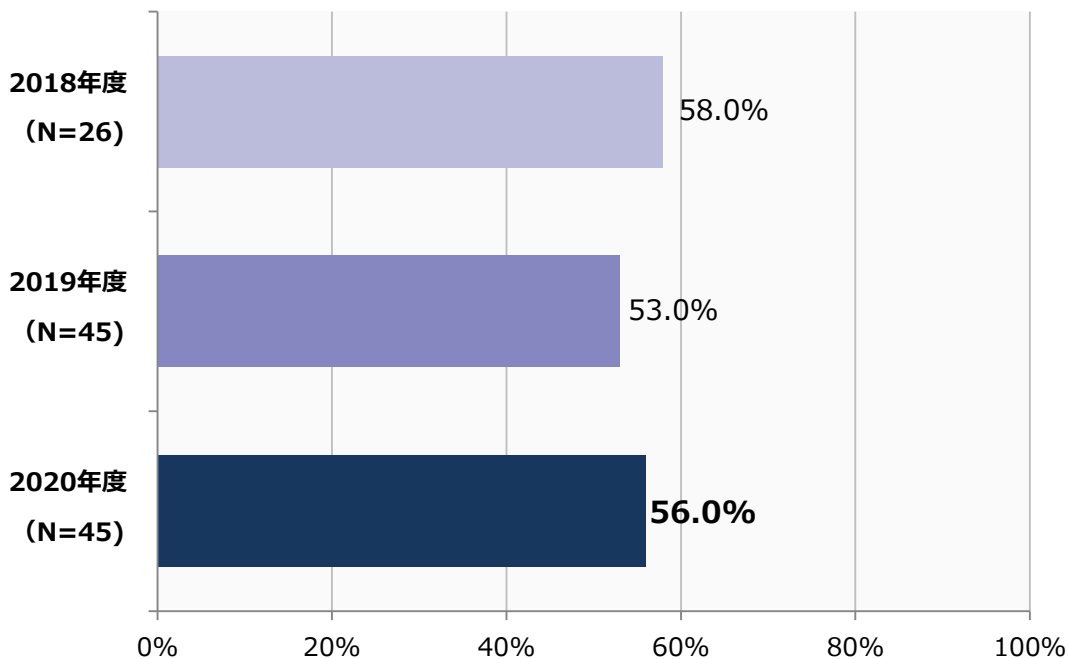


## 来院後60分以内にrt-PA静注療法を開始した率（脳梗塞急性期）

発症から4.5時間以内の脳梗塞患者に対するrt-PA静注療法のランダム化試験のメタ解析では、発症から治療開始までの時間が短いほど3ヶ月後の転帰良好の割合が増加します。

脳卒中治療ガイドライン2015ではrt-PA静注療法は来院から60分以内に開始することが求められています。2020年度の当科診療データでは来院から60分以内の施行開始率は56%でした。



### 当院値の定義・算出方法

**分子：** 来院から60分以内にrt-PA静注療法を施行した患者数  
**分母：** 脳梗塞急性期にrt-PA静注療法を施行した患者数

$$\frac{\text{分子}}{\text{分母}} \times 100 (\%)$$

※グラフ中のN数は分母の値を示しています。

### 改善策について

頭部CTで出血の有無を確認した時点でtPA適応を判断するようにしており、救急隊からのコールがあった時点で体制を整えています。昨年より僅かであるが良好な結果となっています。

文責：脳神経内科部長  
川尻 真和